

- 給与上手くんα VERSION:14.103
- 給与上手くんαクラウド・給与上手くんαクラウド SE VERSION:14.103

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 給与・賞与

- 年末調整データ入力の累積入力タブにて、年末調整の直前の処理月の扶養人数が減る現象の修正を行いました。
- 年調切替後に税額表区分を変更した場合に年末調整データ入力の累積入力タブにて、年末調整の直前の処理月の所得税が変わる現象の修正を行いました。
- 過去月で扶養親族を追加すると、当月の該当扶養親族の「退職所得を除いた所得見積額」に“0”が転記されてしまう現象を修正しました。

※詳細は、次ページからの“**給与処理 d b【給与計算】(VERSION: 14.103) の変更点**”を参照してください。

ご注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

給与処理db【給与計算】(VERSION:14.103)の変更点

修正

I. 給与・賞与/入力・出力

1) 給与・賞与

①年末調整データ入力の累積入力タブにて、年末調整の直前の処理月の扶養人数が減る現象の修正を行いました。

《条件》

- ・社員登録の扶養情報①タブにて「申告書情報と連動する」のチェックがない。
- ・本人区分にて「障害者、ひとり親・寡婦、勤労学生」が設定されている。

《操作》

- 1.年調切替ボタンを押下後、年調計算方法で“最終給与の税額計算を行う年調（単独年調）”を、年末調整処理での過不足税額表示で“単独年調処理時、「過不足税額」のみ出力する。”を選択。
- 2.社員登録の扶養情報①タブにて「申告書情報と連動する」にチェックを入れ、「連動の設定を全社員に反映させますか？」で“はい”を選択。
- 3.「2」操作時に選択されていた社員以外で、本人区分の設定がある社員の年調直前の処理月の扶養人数が、累積入力タブにて減っていました。

扶養人数の減った社員を選択している状態で基礎・配偶者・調整控除申告書タブに移動すると、その社員の該当月の所得税が再計算されてしまうケースがありました。

この場合誤った過不足税額になっていました。

支払日	扶養	税率	支給額	非課税	総支給額	社会保険料	所得税
前月分							
01月25日	1		500,000	0	500,000	73,800	15,460
02月24日	1		500,000	0	500,000	73,800	15,460
03月24日	1		500,000	0	500,000	73,800	15,460
04月26日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
05月26日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
06月28日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
07月26日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
08月26日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
09月26日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
10月26日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
11月24日	1		500,000	0	500,000	74,475	15,400
12月26日	0		500,000	0	500,000	74,475	18,630
給与合計			6,000,000	0	6,000,000	891,675	188,210

《重要》

現象が発生していた社員について、当プログラムのバージョンアップを行っても再計算は行いません。2023年12月26日付「給与処理dbの不具合に関するお知らせ」の対処方法をご確認いただきますようお願いいたします。

②年調切替後に税額表区分を変更した場合に年末調整データ入力の累積入力タブにて、年末調整の直前の処理月の所得税が変わる現象の修正を行いました。

《条件》

- ・単独年調の単独支給で年末調整を行っている。
- ・社員登録の税金タブの税額表区分を年調切替後に変更している。
- ・年末調整データ入力で基礎・配偶者・調整控除申告書入力タブを開いている。

《操作》

- 1.年調切替ボタンを押下後、年調計算方法で“最終給与の税額計算を行う年調（単独年調）”を、年末調整処理での過不足税額表示で“単独年調処理時、「過不足税額」のみ出力する。”を選択。
- 2.社員登録の税金タブの税額表区分を変更する。(乙欄→甲欄等※)
- 3.基礎・配偶者・調整控除申告書タブに移動後、累積情報タブに移動すると年調切替直前の処理月の所得税が年調切替後の税額区分で再計算され実際に徴収した金額と異なっていました。徴収金額が再計算された結果、誤った過不足税額になっていました。

※甲欄、乙欄（扶養控除申告書の有無：有り）、乙欄（扶養控除申告書の有無：無し）いずれの変更の場合も対象です。

07月25日	0		150,000	0	150,000	0	8,700
08月25日	0		150,000	0	150,000	0	8,700
09月25日	0		150,000	0	150,000	0	8,700
10月25日	0		150,000	0	150,000	0	8,700
11月24日	0		150,000	0	150,000	0	8,700
12月25日	0		150,000	0	150,000	0	2,980
給与合計			1,500,000	0	1,500,000	0	98,680

《重要》

現象が発生していた社員について、当プログラムのバージョンアップを行っても再計算は行いません。2023年12月27日付「給与処理 db の不具合に関するお知らせ」の不具合内容 2 の対処方法をご確認いただきますようお願いいたします。

- ③過去月で扶養親族を追加すると、当月の該当扶養親族の「退職所得を除いた所得見積額」に“0”が転記されてしまう現象を修正しました。

《現象の起きる操作の例》

- ・すでに登録されている社員に、過去月に戻った状態で扶養親族を追加し、「登録内容を変更した社員の情報を最新月にも反映しますか？」を「はい」で進めた場合
- ・過去月に戻って社員を新規登録し、扶養親族も同時に登録した場合

※ご注意

現象の発生している扶養親族については「0」を削除いただきますようお願いいたします。

以上